

### ■リードのみの練習

- [1]  
・CからAくらいの音で、まっすぐで、ふらつかないロングトーンができるように練習しましょう。
- [2]  
・音を動かせるように練習しましょう。3度程度の音程幅を演奏できると良いでしょう。

※リードからは手を放して練習します。  
※リードのチェックと奏法のチェックを兼ねて、これらを行うと、後の練習がスムーズになります。



### ■ロングトーン

- 音によっては「開きやすい」「こもりやすい」など楽器の特性があるので、2音をつなげるロングトーンで、音色を整える練習が重要です。
- 自分の音を良く聴いて、同質な音色を目指してください。

※譜例はJBCバンドスタディP.16より



### ■オーボエの特有のブレス

- 他の楽器と違ってオーボエは息は「吐いて、吸う」が重要。
- 休符の間に、タイミングを取り「吐いて、吸う」を習慣づけてください。
- 教則本や演奏動画等も参考にしてみましょう。

### ■スケール

- ロングトーンと同様に、オーボエの特性を理解し、音質を整えながら練習しましょう。
- 息の入れ方を変えないで、息の流し方(温度)をコントロールしましょう。
- 指を柔らかく使うことを目標にしてください。固く動かすと力んでしまい、身体に不調が出るかもしれません。

[C Major (C dur)]



- ※時間が無い人はB durやC durなど2オクターブ演奏できる調を選んでみてください。
- ※可能な限り様々な調性にチャレンジしてください。

### ■タンギング

[音の処理(リリース)に注意]

- 音の終わりにタンギングをして処理しないようにしましょう。
- チェック方法はリードだけで吹いてみるのも良いアイデアです。

[正確に刻む練習]

- メトロノームを使うなどして、四分音符、八分音符、三連符、十六分音符、など正確に刻めるよう練習しましょう。



### ■ビブラート

- ロングトーンなどが充分にできていることが大前提です。まだ、不安定な人はこれまでの練習をマスターしてください。
- ビブラートは色々な種類がありますが、お腹でできるビブラートにチャレンジしましょう。
- HA HA HA と笑ったときにお腹が動かす要領で、音に波をゆっくりな早さから規則的につけていきましょう。

